

## 共存許容限界値

	ナトリウムイオン( $\text{Na}^+$ )	カリウムイオン( $\text{K}^+$ )	硝酸イオン( $\text{NO}_3^-$ )	カルシウムイオン( $\text{Ca}^{2+}$ )
選択係数	$\text{K}^+, \text{Rb}^+ = 1 \times 10^{-2}$  pH 3~9 ( $10^{-3}$ mol/L $\text{Na}^+$ において)	$\text{Rb}^+ = 1 \times 10^{-1}$  pH 2~9 ( $10^{-3}$ mol/L $\text{K}^+$ において)	$\text{I}^- = 10$ $\text{NO}_2^- = 7 \times 10^{-1}$ $\text{Cl}^- = 4 \times 10^{-2}$ $\text{Br}^- = 9 \times 10^{-1}$  pH 3~8 ( $10^{-3}$ mol/L $\text{NO}_3^-$ において)	$\text{Fe}^{2+}, \text{Zn}^{2+} = 1$ $\text{Fe}^{3+} = 10$ $\text{Cu}^{2+} = 1 \times 10^{-2}$  pH 4~12 ( $10^{-3}$ mol/L $\text{Ca}^{2+}$ において)

\*選択係数とは測定対象イオンに対する共存イオンの影響の割合を表したものです。たとえば、ナトリウムイオンに対するカリウムイオンの選択係数は $1 \times 10^{-2}$ となっており、もし測定対象のナトリウムイオンと共存イオンのカリウムイオンが同じ濃度含まれた場合、約 $1 \times 10^{-2}$ (1%)高くナトリウムイオンの測定値が表示されます。